

第2章

試験制度で変わる CWの練習方法



本章ではCWの実践運用に焦点を絞り、モールス符号を覚えた方がどのようにすれば実際のハムバンドでQSOを楽しめるか？ 効率良く上達するにはどうしたら良いか？ などを検討します。ぜひ、ご自身で実践したり、入門者へのアドバイスのヒントなどにお役立てください。

モールス符号の覚え方、電鍵、パドルの操作方法の基本などは、他書との重複を極力避け、割愛していますので、この部分はほかのモールス通信関連の専門書を合わせてご覧ください。

2-1 資格試験とCW

モールス通信のプロ業務引退に伴い、世界的なライセンス規定の大幅な見直しがあり、ハムも電気通信術 (CW) の学科試験が大幅に緩和されました。その動きは2000年4月15日にいち早くアメリカにて実施されました。GMDSS廃止の翌年ですので、さすがにアマチュア無線発祥の国だけのことはあり、状況変化に対する対応が迅速^{じんそく}です。Novice級とAdvanced級のライセンスを廃止し、も

ともとCW義務のなかったTechnician級以外の資格試験のCW受信速度を5WPM (25字/分) に統一しました。さらに2007年2月23日以降は、アメリカのすべての資格試験からCWを全廃しました。

一方、日本では2005年10月1日以降、1アマ、2アマの電気通信術の試験を25文字/分の受信のみに、3アマは法規の筆記試験の中でモールス符号の知識を問うだけとなりました。さらに、日本

独自の養成課程講習会の制度については、3アマでは電気通信術の実技が廃止される一方、法規の学科が8時間から10時間へ加算されました。

以上がRRからCWの義務がなくなったことに対する日米の各主管庁が下した現時点での結論です。

アメリカを比較対象とした理由は、アマチュア無線発祥の国であり、なんと言ってもアクティブに活動している局数でいえば実質的なハム王国だからです。また、筆者はFCC試験（米国のハム免

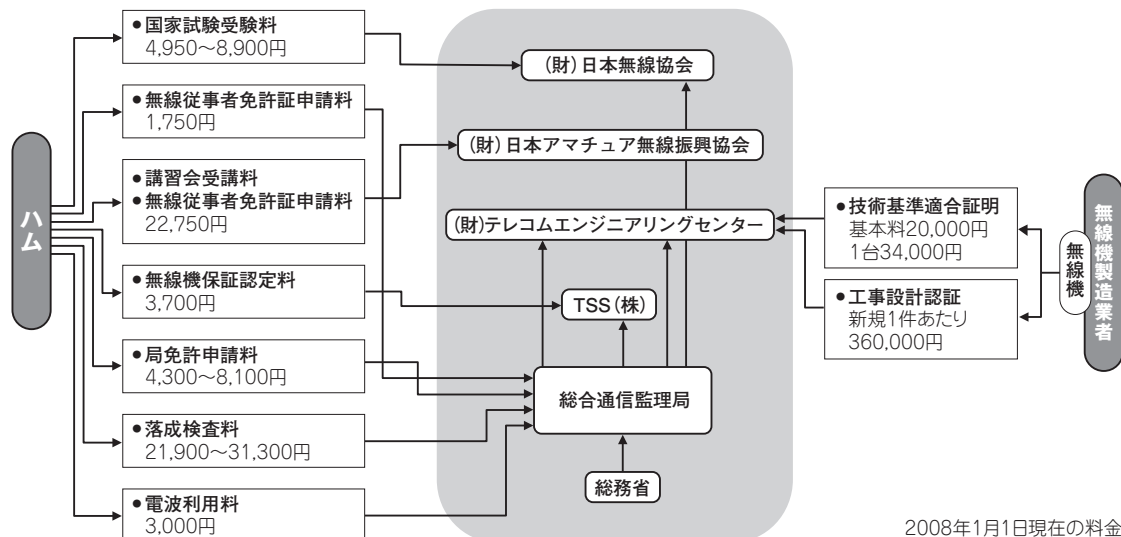
許）を受験し、ライセンスを取得した体験があるためです。

免許制度とCW人口

アメリカのARRL幹部の分析によれば、CWの試験を全廃した後のハムの数は減少に歯止めがかかり、わずかながら増加傾向にあり、CW愛好家の数も増えているとのことです。

一方、日本では終身制の無線従事者免許と5年期限の無線局免許が別々の仕組みなので統計判断

■ 日本のシステム



■ アメリカのシステム

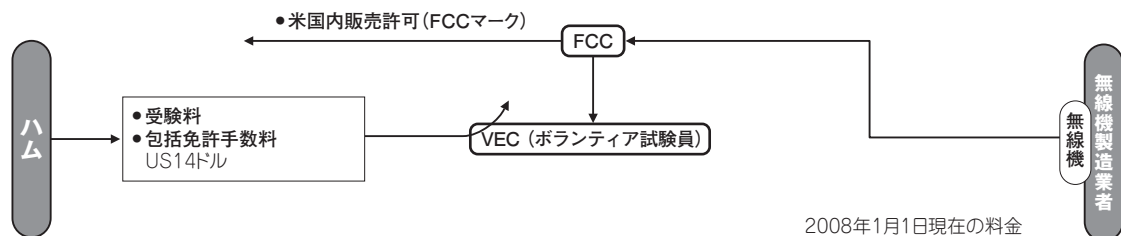


図2-1 日米のアマチュア無線免許・行政手続きの比較

日本で出力1kWのアマチュア無線局を開局する場合、受験から開局するまでに5万円以上のコストと数ヶ月の期間を要する。一方、アメリカではわずかUS14ドルのコストと数週間が開局できる

は難しいですが、活動中のハム局数でみれば、減少に歯止めはかからず、同時に高齢化が進んでいます。ハム全体の数は減り、その中でCW愛好家の割合だけが増加傾向のようです。

これらはCWの試験制度だけの要因ではなく、移民の受け入れ、人口構成、包括免許制度、VEC制度などが有効に機能していることも要因と考えられます。

一方、日本の受験 & 開局、検査、保証認定、技適、電波利用料、無線局の変更等諸制度の運用コストと時間、エネルギーなどがネガティブ要因となっており、いろいろからんでいると思われま^とす(図2-1)。

制度改定時、世界的に多くの賛否両論がありました。アマチュア無線だけが最後の砦^{とりで}となった

CWを試験から廃止すべきでない、という意見と、いやいや、アマチュア無線への入門者を増やす意味からも制度の簡素化は良いことだ、という意見が世界的に巻き起こりました。

RRにCWの義務がない以上、国内の資格試験にもCW義務は不要だという米国の論法が論理的のように思います。

一方、日本の制度改定は従来の流れや国内のいろいろな事情、立場にある方々を共に立てた折衷案という印象を筆者は持ちます。それはともかくとして、わたしたちは、この制度改定を受けて、それではいかにしてアマチュア無線界とCWを維持発展させ、入門者に道を開き育成していくかを検討してみましょう(表2-1)。

表2-1 日米ハムの資格試験・CW科目改定一覧

無線従事者規則 アマチュア無線技士国家試験 各資格CW科目の経緯

	第1級	第2級	第3級
平成17年10月1日以前	1分間60字の速度の欧文普通語による約3分	1分間45字の速度の欧文普通語による約2分	1分間25字の速度の欧文普通語による約2分間の音響受信
変更：平成17年10月1日以降	1分間25字の速度の欧文普通語による約2分間の音響受信(第1級・第2級共通化)		「法規」の試験においてモールス符号の理解度を確認(電気通信術試験廃止)

アメリカ FCC VEC 試験 各資格CW科目の経緯

クラス	2000年4月15日以前	2000年4月15日以降	2007年2月23日以降
Novice級	5WPM	資格廃止	—
Technician級	CW試験なし	CW試験なし	CW試験廃止
Technician Plus級	5WPM	5WPM	
General級	13WPM	5WPM	CW試験廃止
Advanced級	13WPM	資格廃止	—
Amateur Extra級	20WPM	5WPM	CW試験廃止

* 1WPM=5字/分

アマチュア無線技士養成課程講習会 第3級アマチュア無線技士短縮コース 授業科目・時間数

科目	時間数(現在)	時間数(以前)
無線工学	2時間	2時間
電気通信術	廃止	2時間
法規	4時間	2時間

* 養成課程講習会は法規科目中で電気通信術の知識の講義を実施